

地水火風

牧野 恒一

東日本大震災から間もなく2年が経とうとして、全国の多くの自治体では地域防災計画の見直しを進めているようだ。大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震は、M9.0という日本の観測史上最大となる地震だった。特に巨大津波と原発事故は想定を遙かに超えるもので、「災害対策」という概念すら根底から揺さぶられた。今回は、自治体の地域防災計画に望むことと国土強靱化計画について考えてみたい。

東日本大震災から間もなく2年が経とうとして、全国の多くの自治体では地域防災計画の見直しを進めているようだ。大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震は、M9.0という日本の観測史上最大となる地震だった。特に巨大津波と原発事故は想定を遙かに超えるもので、「災害対策」という概念すら根底から揺さぶられた。今回は、自治体の地域防災計画に望むことと国土強靱化計画について考えてみたい。

東日本大震災から間もなく2年が経とうとして、全国の多くの自治体では地域防災計画の見直しを進めているようだ。大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震は、M9.0という日本の観測史上最大となる地震だった。特に巨大津波と原発事故は想定を遙かに超えるもので、「災害対策」という概念すら根底から揺さぶられた。今回は、自治体の地域防災計画に望むことと国土強靱化計画について考えてみたい。

地域防災計画と国土強靱化計画

本から見直す必要があることを改めて教えてくれた。これまでの「21世紀の日本は(大地震や噴火が頻発する)大地震動の時代」、「地球温暖化による世界的異常気象の世紀」など、これから大規模災害が頻発するようになることは警告されている。

念に沿ってきちんと作られているものは、あまり多くないように見える。現行の多くの地域防災計画の問題点として、以下の点があげられる。
①計画が絵画的・抽象的で、具体性に欠ける。
②整備に関する数値目標や達成計画が示されていない。

「数値目標と達成計画は不可欠」
今回、地域防災計画を見直すのであれば、「津波の想定は従来どおり良い

いたが、東日本大震災を経験して、その意味を身にしみて実感させられた。私たちは、今度こそ、本気で「災害対策」に取り組まなければならない。そのような観点からこれまでの地域防災計画を見てみると、対法の理

画に委ねるべきことも多いたが、東日本大震災を経験して、その意味を身にしみて実感させられた。私たちは、今度こそ、本気で「災害対策」に取り組まなければならない。そのような観点からこれまでの地域防災計画を見てみると、対法の理

念に沿ってきちんと作られているものは、あまり多くないように見える。現行の多くの地域防災計画の問題点として、以下の点があげられる。
①計画が絵画的・抽象的で、具体性に欠ける。
②整備に関する数値目標や達成計画が示されていない。

「数値目標と達成計画は不可欠」
今回、地域防災計画を見直すのであれば、「津波の想定は従来どおり良い

いたが、東日本大震災を経験して、その意味を身にしみて実感させられた。私たちは、今度こそ、本気で「災害対策」に取り組まなければならない。そのような観点からこれまでの地域防災計画を見てみると、対法の理

大規模な災害が発生する降、そのような希望的認識は根底から転換せざるを得なくなったと考える。このため、地域防災計画には全職員に大規模災害時の役割が定められるのが普通である。事前の防災体制の整備についてもほとんど全部局が関わっており、計画には当然記載がある。

それにもかかわらず、これまで、地域防災計画の改定などを行う際には、原案づくりが一部の防災担当職員に丸投げされ、なかなか「全庁あげ

「地域防災計画の作成や改定は全庁あげて取り組むべきもの」
だが、東日本大震災以

いたが、東日本大震災を経験して、その意味を身にしみて実感させられた。私たちは、今度こそ、本気で「災害対策」に取り組まなければならない。そのような観点からこれまでの地域防災計画を見てみると、対法の理

計画を見直す意味はない。地域防災計画の見直しを行つたら、被害想定によって更なる整備が必要になる事項について幅広く検討し、その達成計画を地域防災計画に明記する方向で、首長を含めて全庁的に議論することが不可欠だと考える。

「国土強靱化計画は地域防災計画の積み上げから」
新政権が発足し、日本経済の活性化に向けて矢張り必要なのは、国土強靱化を旗印に、被災地の復興対策、防災対策、インフラの老朽化対策などの衣をまとっているのが特徴だ。

災害に強い国造りは緊急に実施しなければならぬが、経済活性化のために行う公共投資は、日本経済が破綻しないよう(ちょっと大げさだが、)に微妙なきじ加減が必要だ。どうしても必要な防災対策を吟味して年次計画を策定し、それを計画としてほしいもの

いたが、東日本大震災を経験して、その意味を身にしみて実感させられた。私たちは、今度こそ、本気で「災害対策」に取り組まなければならない。そのような観点からこれまでの地域防災計画を見てみると、対法の理